

| | | | |
|---|---|---|----------------|
| 科目名: 国語 4a | | | |
| 英文名: Japanese 4a | | | |
| 担当者: 大内 清司 | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: | 前期 コース: 全 |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| 「授業タイトル」 | | | |
| 第 1 週 基礎編第1回 | [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | ■ 授業概要・方法等 技術者をめざす高専の学生を対象に、進学・就職に対応できる文章構成能力と読解力向上のため、日本語運用能力の基礎を身につけます。 ■ 使用言語 日本語 ■ 学習・教育目標および到達目標 受講生はこの授業を受講することによって。 1. (D-G1)(D-1)四字熟語や故事成語、ことわざなど言葉について知識を深める(漢検2級相当)。 2. (E-G1)(E-1)論理的に考え、説得力を持って意見を提示することが出来る書き方を理解する。 ことができるようになります。 ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 定期試験の後に、出題問題について一緒に考え復習をすることでフィードバックを行なう。漢字小テストなどの場合も間違いの傾向などを整理して提示する。 ■ 教科書 『パスポート国語必携』 桐原書店 (ISBN 978-4-342-0) ■ 参考文献 『常用漢字クリア』 尚文出版 ■ 関連科目 特になし ■ 成績評価方法および基準 定期考査成績: 定期試験(60%)、漢字小テスト(40%)として評価します。ただしノートの提出が無い場合は-20%。定期試験は中間・期末の2回。 方 式: 記述式 最終成績: 定期考査成績の平均点とし、90 点以上「秀」、80 点以上 90 点未満「優」、70 点以上 80 点未満「良」、60 点以上 70 点未満「可」、60 点未満「不可」とします。 ■ 授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) 「パスポート国語必携」を使用した予習・復習、漢字学習 ■ 教員所在場所 大内: 本館1階保健管理センター、 ■ 授業評価アンケート実施方法 10 月に授業アンケートを実施します。第 1 回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。 ■ メールアドレス 大内 oouchi@ktc.ac.jp, ■ オフィスアワー 大内: 月曜日(12:15~13:00) | |
| 第 2 週 基礎編第2回 | [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | |
| 第 3 週 基礎編第3回 | [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | |
| 第 4 週 基礎編第4回 | [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | |
| 第 5 週 基礎編第5回 | [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | |
| 第 6 週 基礎編第6回 | [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | |
| 第 7 週 表現編第8回第9回高校生活で得たもの | [予習内容]: 大まかな草案を書きとめておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、清書すること | | |
| 第 8 週 「第1週から7 週までの総復習」 | 中間試験とその復習・フィードバック実施 | | |
| 第 9 週 基礎編第7回 | [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | |
| 第10週 基礎編第8回 | [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | |
| 第11週 基礎編第9回 | [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | |
| 第12週 基礎編第10回 | [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | |
| 第13週 表現編第10回第11回自己アピール | [予習内容]: 大まかな草案を書きとめておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、清書すること | | |
| 第14週 「第 9 週から 14 週までの総復習」 | [予習内容]: これまでの学習項目で質問点を整理しておくこと [復習内容]: 出された質問点の考察内容を復習しておくこと | | |
| 定期試験 「試験の実施とその復習・フィードバック」 (試験時間各 50 分) | | | |

| | | | |
|---|--------|---|--------|
| 科目名: 国語 4b | | | |
| 英文名: Japanese 4b | | | |
| 担当者: 大内 清司 | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: 後期 | コース: 全 |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| 「授業タイトル」 | | | |
| 第 1 週 基礎編第11回 [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | ■授業概要・方法等 技術者をめざす高専の学生を対象に、進学・就職に対応できる文章構成能力と読解力向上のため、日本語運用能力の基礎を身につけます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講生はこの授業を受講することによって。 1. (D-G1)(D-1)四字熟語や故事成語、ことわざなど言葉について知識を深める(漢検2級相当)。 2. (E-G1)(E-1)論理的に考え、説得力を持って意見を提示することが出来る書き方を理解する。 ことができるようになります。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 定期試験の後に、出題問題について一緒に考え復習をすることでフィードバックを行なう。漢字小テストなどの場合も間違いの傾向などを整理して提示する。 ■教科書 『パスポート国語必携』 桐原書店 (ISBN 978-4-342-0) ■参考文献 『常用漢字クリア』尚文出版 ■関連科目 特になし ■成績評価方法および基準 定期考査成績: 定期試験(60%)、漢字小テスト(40%)として評価します。ただしノートの提出が無い場合は-20%。定期試験は中間・期末の2回。 方 式: 記述式 最終成績: 定期考査成績の平均点とし、90 点以上「秀」、80 点以上 90 点未満「優」、70 点以上 80 点未満「良」、60 点以上 70 点未満「可」、60 点未満「不可」とします。 ■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) 「パスポート国語必携」を使用した予習・復習、漢字学習 ■教員所在場所 大内: 本館1階保健管理センター、 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に授業アンケートを実施します。第 1 回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。 ■メールアドレス 大内 oouchi@ktc.ac.jp, ■オフィスアワー 大内: 月曜日(12:15~13:00) | |
| 第 2 週 基礎編第12回 [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | | |
| 第 3 週 基礎編第13回 [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | | |
| 第 4 週 基礎編第14回 [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | | |
| 第 5 週 基礎編第15回 [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | | |
| 第 6 週 発展編第1回 [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | | |
| 第 7 週 表現編第14回第15回志望動機 [予習内容]: 大まかな草案を書きとめておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、清書すること | | | |
| 第 8 週 「第1週から7 週までの総復習」 中間試験とその復習・フィードバック実施 | | | |
| 第 9 週 発展編第2回 [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | | |
| 第10週 発展編第3回 [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | | |
| 第11週 表現編第16回第17回履歴書の書き方 [予習内容]: 大まかな草案を書きとめておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、清書すること | | | |
| 第12週 発展編第18~21回 SPI 対策 [予習内容]: 問題を解き、わからない箇所を調べておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、ノートなどの整理をすること | | | |
| 第13週 課題作文理想とする技術者像 [予習内容]: 大まかな草案を書き留めておくこと [復習内容]: 授業内容を復習し、清書すること | | | |
| 第14週 「第9 週から14 週までの総復習」 [予習内容]: これまでの学習項目で質問点を整理しておくこと [復習内容]: 出された質問点の考察内容を復習しておくこと 定期試験 「試験の実施とその復習・フィードバック」 (試験時間各 50 分) | | | |

| | | | |
|---|----------|---|--------|
| 科目名: 英語 4a | | | |
| 英文名: English 4a | | | |
| 担当者: 上田 透 奈須健 福岡玲子 遠藤千加子 | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 担当者によって異なる。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: 前期 | コース: 全 |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1.5 | 単位の種別: 履修単位 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| 「授業タイトル」 | | | |
| 第 1週 Unit 1 College Life I: Welcome to College [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | ■授業概要・方法等 英語 1~3 で学んだ英語コミュニケーション能力の基礎を発展させる活動を行います。教科書に沿った授業展開をし、日々の課題や提出物、小テストなどをこなしながら、英語を読む、書く、聞く、話す訓練を総合的にを行います。さらに情報や考えを的確に理解し伝える能力を養います。授業は週 3 時間あり、習熟度に応じ、全学年が 4 クラスに分かれます。 | |
| 第 2週 Unit 2 College Life II: Course Registration [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | ■使用言語 日本語 | |
| 第 3週 Unit 3 Hobbies: Do It Yourself [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 | |
| 第 4週 Unit 4 Romance: The Guardian of Love [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | 1. (E-G2)(E-2) 英語の概略を聞き取る 2. (E-G2)(E-2) 英語の基礎を理解した上で、英語を英語のまま理解し、なるべく沢山の英語に触れる 3. (E-G2)(E-2) 英語圏の生活や文化について理解を深めることができるようになります。 | |
| 第 5週 Unit 5 Transportation: Low-Cost Carriers [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与しています。 | |
| 第 6週 Unit 6 Business: An Indian Restaurateur [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に模範解答と学生の試験開示を個々に行います。課題は出された次の授業時に回収して、添削・採点の上、間違いが多い点や重要な点などを解説して返却します。 | |
| 第 7週 Unit 7 Society: Global Self-Help Revolution [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | ■教科書 Power-up English, Pre-Intermediate (南雲堂) (ISBN 978-4-523-17772-2 C0082) | |
| 第 8週 第 1 週～第 7 週までに学んだことについて総復習。中間試験。 [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | ■参考文献 紙でも電子辞書でもいいので、辞書を一冊用意し、普段から分からない単語を調べることを習慣にする。 | |
| 第 9週 答案返却・解答。 [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | ■関連科目 英語演習 4、TOEIC プラス。他に、外国文献講読、英語特講 | |
| 第10週 Unit 8 Health: Achilles Tendon Rupture [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2 回)、方式: 共通テスト 80%、小テスト 10%、課題 10% で評価します。最終成績は、2 回の定期考査成績の平均点とします。 | |
| 第11週 Unit 9 The Environment: Aluminum-can Recycling [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | 90 点以上「秀」、80 点以上～90 点未満「優」、70 点以上～80 点未満「良」、60 点以上～70 点未満「可」、60 点未満「不可」 | |
| 第12週 Unit 10 Medicine: Alternative Medicine. [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | ■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) あらかじめ教科書を読み、単語を調べておき、授業で指定された単語、熟語、表現を覚えるなどの準備学習(予習・復習等)。 | |
| 第13週 Unit 11 Finance: Two Big Players [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | ■教員所在場所 上田・奈須: 本館 1F 学生部、福岡・遠藤: 2 号館 2F 共通教育科 | |
| 第14週 Unit 12 Shopping: Smart Shopping [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | ■授業評価アンケート実施方法 10 月に授業アンケートを実施します。第 1 回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。 | |
| 第15週 第 8 週～第 14 週までに学んだことについて総復習。 [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分) | | ■メールアドレス 上田: ueda@kct.ac.jp、奈須: nasu@kct.ac.jp、福岡: fukuoka@kct.ac.jp、遠藤: endou@kct.ac.jp | |
| 定期試験 第 8 週～第 15 週までの内容について期末試験を行う。(試験時間 50 分) | | ■オフィスアワー 担当教員によって異なります。 | |

| | | | |
|--|----------|--|--------|
| 科目名: 英語 4b | | | |
| 英文名: English 4b | | | |
| 担当者: 上田 透 奈須健 福岡玲子 遠藤千加子 | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 担当者によって異なる。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: 後期 | コース: 全 |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1.5 | 単位の種別: 履修単位 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p style="text-align: center;">「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 Unit 13 Careers: Job Hunting [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>第 2 週 Unit 14 Art: The Shadow of a Great Artist [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>第 3 週 Unit 15 Culture: Everyday Japan and "Matsuri" Japan [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>第 4 週 Unit 16 Population: The Declining Birthrate [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>第 5 週 Unit 17 Disasters: Narrow Escape [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>第 6 週 Unit 18 Travel: Invitation to Hokkaido [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>第 7 週 Unit 19 Sports: The World's Most Popular Sport? [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>第 8 週 第 1 週～第 7 週までに学んだことについて総復習。中間試験。 [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>第 9 週 答案返却・解答。 [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>第10週 Unit 20 Life: Quality of Life [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>第11週 Unit 21 Entertainment: Television Prime Time [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>第12週 Unit 22 Language: Loanwords in Japanese [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>第13週 Unit 23 Science: The Goal of Science [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>第14週 Unit 24 Technology: A Language Robot [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>第15週 第 8 週～第 14 週までに学んだことについて総復習。 [予習内容]: 単熟語を調べ内容の要点を把握・予測する(60 分) [復習内容]: 教科書やノートを再読し内容理解を深める(30 分)</p> <p>定期試験 第 8 週～第 15 週までの内容について期末試験を行う。(試験時間 50 分)</p> | | <p>■授業概要・方法等 英語 1～3 で学んだ英語コミュニケーション能力の基礎を発展させる活動を行います。教科書に沿った授業展開をし、日々の課題や提出物、小テストなどをこなしながら、英語を読む、書く、聞く、話す訓練を総合的にを行います。さらに情報や考えを的確に理解し伝える能力を養います。授業は週 3 時間あり、習熟度に応じ、全学年が 4 クラスに分かれます。</p> <p>■使用言語 日本語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、</p> <ol style="list-style-type: none"> (E-G2)(E-2) 英語の概略を聞き取る (E-G2)(E-2) 英語の基礎を理解した上で、英語を英語のまま理解し、なるべく沢山の英語に触れる (E-G2)(E-2) 英語圏の生活や文化について理解を深めることができるようになります。 <p>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与しています。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に模範解答と学生の試験開示を個々に行います。課題は出された次の授業時に回収して、添削・採点の上、間違いが多い点や重要な点などを解説して返却します。</p> <p>■教科書 Power-up English, Pre-Intermediate (南雲堂) (ISBN 978-4-523-17772-2 C0082)</p> <p>■参考文献 紙でも電子辞書でもいいので、辞書を一冊用意し、普段から分からない単語を調べることを習慣にする。</p> <p>■関連科目 英語演習 4、TOEIC プラス。他に、外国文献講読、英語特講</p> <p>■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2 回)、方式: 共通テスト 80%、小テスト 10%、課題 10% で評価します。最終成績は、2 回の定期考査成績の平均点とします。90 点以上「秀」、80 点以上～90 点未満「優」、70 点以上～80 点未満「良」、60 点以上～70 点未満「可」、60 点未満「不可」</p> <p>■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) あらかじめ教科書を読み、単語を調べておき、授業で指定された単語、熟語、表現を覚えるなどの準備学習(予習・復習等)。</p> <p>■教員所在場所 上田・奈須: 本館 1F 学生部、福岡・遠藤: 2 号館 2F 共通教育科</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 10 月に授業アンケートを実施します。第 1 回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス 上田: ueda@kct.ac.jp、奈須: nasu@kct.ac.jp、福岡: fukuoka@kct.ac.jp、遠藤: endou@kct.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 担当教員によって異なります。</p> | |

| | | | |
|---|--------|---|----------------|
| 科目名: 経済学 a | | | |
| 英文名: Economics a | | | |
| 担当者: 西 孝 | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 地方銀行およびシンクタンクに勤務し、支店の経営、経済・産業調査を主に担当した。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: | 前期 コース: 全 |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p style="text-align: center;">「授業タイトル」</p> <p>第1週 ガイダンス、経済学とは何か [予習内容]: 不要 [復習内容]: 経済学の定義</p> <p>第2週 市場メカニズムのしくみ、経済主体、財・サービス [予習]: 経済主体、財・サービスについて(30分) [復習]: 消費者と生産者の関係(20分)</p> <p>第3週 需要と需要曲線、供給と供給曲線 [予習]: 需要曲線、供給曲線について(30分) [復習]: 需要と供給に価格形成について(30分)</p> <p>第4週 均衡価格と均衡取引量、消費者余剰と生産者余剰 [予習]: 均衡価格、均衡取引量について(30分) [復習]: 消費者余剰、生産者余剰、総余剰について(30分)</p> <p>第5週 企業の構造 1 [予習]: 企業の形態、資金の調達について(30分) [復習]: 企業の目的(20分)</p> <p>第6週 企業の構造 2 [予習]企業の目的について(30分) [復習]利潤最大化について(20分)</p> <p>第7週 市場の失敗と不完全競争 [予習]: 完全競争市場と不完全競争市場の違い(30分) [復習]: 不完全競争市場の発生要因(20分)</p> <p>第8週 中間試験、答案返却 これまでの講義内容に関する筆記試験をおこなう(50分)。 模範解答を掲示し、解説もおこなう。試験結果は個別に開示する。</p> <p>第9週 貿易の構造としくみ 1 [予習]: 保護主義とは(20分) [復習]: リカードの「比較優位」について(30分)</p> <p>第10週 貿易の構造としくみ 2 [予習]: ヘクシャー・オリーンモデルについて(30分) [復習]: 自由貿易の利益について(30分)</p> <p>第11週 グローバル化が進む経済1 [予習]: 戦後の日本経済の復興(30分) [復習]: 戦後の復興経済政策(20分)</p> <p>第12週 グローバル化が進む経済2 [予習]: 経済3大改革について(30分) [復習]: ハイパーインフレ(20分)</p> <p>第13週 グローバル化が進む経済 3 [予習]: 朝鮮戦争と日本について(30分) [復習]: 朝鮮戦争と高度経済成長(30分)</p> <p>第14週 グローバル化が進む経済 4(プラザ合意以降の円高)、理解度確認テスト、解説 [予習]: これまでの復習 [復習]: 自由</p> <p>第15週 振り返り [予習]: プラザ合意の経緯(30分) [復習]: 日本企業の海外進出(30分)</p> <p>期末試験 講義内容に関する筆記試験(50分)をおこなう。 模範解答は掲示する。</p> | | <p>■授業概要・方法等 はじめて経済学を学ぶ学生が経済学に親しみ、基礎的な概念について理解できるように、基本的な点に重点を置き、講義します。ミクロ経済の基本的な仕組みについて、身近な事例を用いながら学習していく。主として講義形式で行うが、クラスでの質疑応答・問題演習を通じて理解度を深める機会をつくっていくこととする。上記の内容について、逐次、実務経験でえた知識に基づいて解説します。</p> <p>■使用言語 日本語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、ミクロ経済用語の基礎知識を修得し、ミクロ経済の動きについての基本的仕組みを理解し、身近な事例を通してミクロ経済についての関心と理解を深めることができます。</p> <p>この科目の履修は、本校のディプロマポリシーDの達成に寄与するものです。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 授業中に実施する理解度確認テストについては、解説をおこないます。定期試験は定期試験後に解説をし、模範解答を掲示します。答案はは個別に開示します。</p> <p>■教科書 高橋知也・鈴木久美『超入門経済学』ミネルヴァ書房 ISBN978-4-623-07206-4 (教科書は「経済学 b」と同じものを使用。)</p> <p>■参考文献 適宜紹介する。</p> <p>■関連科目 経済学b</p> <p>■成績評価方法および基準 種類: 筆記試験(中間・期末の2回) 定期考査成績: 筆記試験(100%)で評価する。 最終成績: 2回の定期考査成績の平均とする。 90点以上「秀」、80点以上 90点未満「優」、70点以上 80点未満「良」、60点以上 70点未満「可」、60点未満「不可」</p> <p>■授業時間外に必要な学修 経済動向に関する新聞記事などに目を通すよう心がけてほしい。</p> <p>■教員所在場所 本館2階応接室</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 10月に実施します。第1回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス tnishi@kctc.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 金曜日13:00~14:40</p> | |

| | | | |
|--|--------|---|--------|
| 科目名: 経済学 b | | | |
| 英文名: Economics b | | | |
| 担当者: 西 孝 | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 地方銀行およびシンクタンクに勤務し、支店の経営、経済・産業調査を主に担当した。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: 後期 | コース: 全 |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 1 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p>「授業タイトル」</p> <p>第1週 GDP から考える景気と経済成長 [予習内容] 付加価値について(30分) [復習内容] GDP の概念について(20分)</p> <p>第2週 名目GDPと実質GDP、経済成長率 [予習] GDP 計算に含まれるもの、含まれないもの(20分) [復習] 経済成長率の算出方法(20分)</p> <p>第3週 財政 [予習] 財政の定義(20分) [復習] 財政の3機能について(20分)</p> <p>第4週 日本の財政と税制 [予習] 日本の財政の実態(30分) [復習] 財政赤字の問題点(20分)</p> <p>第5週 世代間の不公平と負担の転嫁 [予習] 「公債発行の中立命題」について(30分) [復習] 公債発行と増税について(30分)</p> <p>第6週 貨幣と金融の機能、理解度確認テストと解説 [予習] 貨幣について(20分) [復習] 貨幣の3大機能について(20分)</p> <p>第7週 金融(銀行の機能、中央銀行等) [予習] 直接金融と間接金融について(30分) [復習] 金融の機能について(20分)</p> <p>第8週 中間試験、模範解答解説、答案個別開示 [予習] 不要 [復習] 不要</p> <p>第9週 労働市場 [予習] 日本の労働力の状況について(30分) [復習] 失業および求人倍率の定義について(20分)</p> <p>第10週 労働供給と労働時間 [予習] 労働の供給と供給の特性について(30分) [復習] 所得効果と代替効果について(30分)</p> <p>第11週 労働需要 [予習] 企業の雇用に対する考え方(30分) [復習] 利潤最大化条件について(20分)</p> <p>第12週 労働組合 [予習] 労働3法について(30分) [復習] 労働組合の役割</p> <p>第13週 新しい経済学 ゲーム理論1 [予習] ゲーム理論の基本的考え方(30分) [復習] 非協力ゲーム(囚人のジレンマほか)について(30分)</p> <p>第14週 新しい経済学 ゲーム理論2 [予習] インセンティブについて(30分) [復習] コミットメントについて(30分)</p> <p>第15週 振り返り [予習] 不要 [復習] 中間試験以降の講義内容の復習</p> <p>期末試験 講義内容に関する筆記試験(50分)をおこなう。</p> | | <p>■ 業概要・方法等</p> <p>はじめて経済学を学ぶ学生が経済学に親しみ、基礎的な概念について理解できるように、基本的な点に重点を置いて講義します。マクロ経済について、経済の規模、経済成長、貨幣、金融、労働市場を中心に講義するほか、ゲーム理論などの比較的新しい経済学にも触れる。主として講義形式でおこなうが、問題演習を通じて理解度を深める機会をつくることとします。</p> <p>実務経験から得られた知識、視点に基づいて、経済事象について経済学の理論に照らし合わせて解説します。</p> <p>■ 使用言語</p> <p>日本語</p> <p>■ 学習・教育目標および到達目標</p> <p>受講者は、マクロ経済用語の基礎知識を修得し、マクロ経済の動きについての基本的仕組みを理解すること、身近な事例を通してマクロ経済についてと理解を深めることができます。</p> <p>この科目の履修は、本校のディプロマポリシーD の達成に寄与するものです。</p> <p>■ 試験・課題に対するフィードバック方法</p> <p>授業中に実施する理解度確認テストについては、解説をおこないません。定期試験は定期試験後に解説をし、模範解答を掲示します。答案は個別に開示します。</p> <p>■ 教科書</p> <p>高橋知也・鈴木久美『超入門経済学』ミネルヴァ書房 ISBN978-4-623-07206-4 (「経済学 a」と同じものを使用します。)</p> <p>■ 参考文献</p> <p>随時示します。</p> <p>■ 関連科目</p> <p>経済学 a</p> <p>■ 成績評価方法および基準</p> <p>種類: 筆記試験(中間・期末の2回) 筆記試験(100%)で評価する。 最終成績: 2回の定期考査成績の平均とする。 90 点以上「秀」、80 点以上 90 点未満「優」、70 点以上 80 点未満「良」、60 点以上 70 点未満「可」、60 点未満「不可」</p> <p>■ 授業時間外に必要な学修 経済動向に関する新聞記事などに目を通すよう心がけてほしい。</p> <p>■ 教員所在場所 本館2階応接室</p> <p>■ 授業評価アンケート実施方法</p> <p>2 月に実施します。第 1 回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■ メールアドレス tnishi@kctc.ac.jp</p> <p>■ オフィスアワー 金曜日 13:00~14:40</p> | |

| | | | |
|---|----------|---|-----------|
| 科目名: 保健体育4a | | | |
| 英文名: Health and Physical Education4a | | | |
| 担当者: 辻本 修 川合裕也 | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: | 前期 コース: 全 |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 0.5 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p style="text-align: center;">「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 「授業説明」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 2 週 「ゲームにおける戦術・戦略Ⅰ」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 3 週 「ゲームにおける戦術・戦略Ⅱ」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 4 週 「ゲームにおける戦術・戦略Ⅲ」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 5 週 「ゲームにおける戦術・戦略Ⅳ」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 6 週 「球技・基礎体力の向上」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 7 週 「球技・基礎体力の向上」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 8 週 「健康と生涯」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 9 週 「球技・基礎体力の向上」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第10週 「球技・基礎体力の向上」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第11週 「新体力テスト」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第12週 「新体力テスト」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第13週 「健康と環境」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第14週 「レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第15週 「レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>定期試験</p> | | <p>■授業概要・方法等 少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為にに行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理する為の基本知識を養う事を目標とします。</p> <p>■使用言語 日本語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することにより、 1. (D-G2)(D-2) 集団行動を通じて協調性を養う。 2. (D-G2)(D-2) 多種多様なスポーツの基本的ルールを学び、参加する楽しさを覚えることができるようになります。この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーDの達成に関与しています。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を解説します。</p> <p>■教科書 「保健体育概論(増補版)」近畿地区高等専門学校体育研究会編 「最新スポーツルール」大修館</p> <p>■参考文献 特にありません。</p> <p>■関連科目 保健・健康科学</p> <p>■成績評価方法および基準 定期試験(1回) 方式: 記述式 体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方から評価する。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性及び課題評価(40%)と定期考査(20%)によって 総合的に評価します。 90 点以上「秀」、80 点以上～90 点未満「優」、70 点以上～80 点未満「良」、60 点以上～70 点未満「可」、60 点未満「不可」</p> <p>■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等)</p> <p>■教員所在場所 3号館1階体育教官室(辻本) 本館2階寮務部(川合)</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 10月に授業アンケートを実施します。第1回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス tujimoto@kct.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 月～金曜日(15:00～16:00)</p> | |

| | | | |
|--|----------|--|--------|
| 科目名: 保健体育4b | | | |
| 英文名: Health and Physical Education 4b | | | |
| 担当者: 辻本 修 川合裕也 | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: 後期 | コース: 全 |
| 科目種別: 必修 | 単位数: 0.5 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p style="text-align: center;">「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 「答案返却・解答」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 2 週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 3 週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 4 週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 5 週 「陸上競技・マラソン」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 6 週 「陸上競技・マラソン」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 7 週 「陸上競技・マラソン」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 8 週 「陸上競技・マラソン」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第 9 週 「陸上競技・マラソン計測」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第10週 「保健体育理論」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第11週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第12週 「球技・レクリエーションスポーツ」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第13週 「新体力テスト」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第14週 「新体力テスト」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>第15週 「新体力テスト」 [予習内容]: [復習内容]:</p> <p>定期試験</p> | | <p>■授業概要・方法等 少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理する為の基本知識を養う事を目標とします。</p> <p>■使用言語 日本語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することにより、 1. (D-G2)(D-2) 集団行動を通じて協調性を養う。 2. (D-G2)(D-2) 多種多様なスポーツの基本的ルールを学び、参加する楽しさを覚えることができるようになります。この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーDの達成に関与しています。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を解説します。</p> <p>■教科書 「保健体育概論(増補版)」近畿地区高等専門学校体育研究会編 「最新スポーツルール」大修館</p> <p>■参考文献 特にありません。</p> <p>■関連科目 保健・健康科学</p> <p>■成績評価方法および基準 定期試験(1回) 方式: 記述式 体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方から評価する。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性及び課題評価(40%)と定期考査(20%)によって 総合的に評価します。 90 点以上「秀」、80 点以上～90 点未満「優」、70 点以上～80 点未満「良」、60 点以上～70 点未満「可」、60 点未満「不可」</p> <p>■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等)</p> <p>■教員所在場所 3号館1階体育教官室(辻本) 本館2階寮務部(川合)</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 10月に授業アンケートを実施します。第1回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス tujimoto@ktc.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 月～金曜日(15:00～16:00)</p> | |

| | | | |
|--|--------|---|----------------|
| 科目名: 解析学 4a | | | |
| 英文名: Analysis 4a | | | |
| 担当者: 神田 毅 | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 研究員としてシンクタンクに勤務。ソフトウェア開発を担当。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: | 前期 コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 1 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p style="text-align: center;">「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 「ガイダンス」(複素関数)(複素数・複素数平面) [予習内容]: 既習単元「複素数」の復習 [復習内容]: プリント「複素関数の練習問題」</p> <p>第 2 週 「複素関数」(絶対値と偏角・極形式) [予習内容]: 既習単元「三角比」の復習 [復習内容]: プリント「複素関数の練習問題」</p> <p>第 3 週 「複素関数」(複素数の方程式) [予習内容]: 既習単元「三角比」の復習 [復習内容]: プリント「複素関数の練習問題」</p> <p>第 4 週 「複素関数」(複素数を利用した三角関数の計算) [予習内容]: 既習単元「三角関数」の復習 [復習内容]: プリント「複素関数の練習問題」</p> <p>第 5 週 「複素関数」(複素数の三角関数・指数/対数関数) [予習内容]: 既習単元「指数/対数関数」の復習 [復習内容]: プリント「複素関数の練習問題」</p> <p>第 6 週 「複素関数」(複素関数による写像) [予習内容]: 既習単元「逆関数」の復習 [復習内容]: プリント「複素関数の練習問題」</p> <p>第 7 週 「複素関数」(複素関数の微分とコーシー・リーマンの関係式) [予習内容]: 既習単元「極限」「微分法」の復習 [復習内容]: プリント「複素関数の練習問題」</p> <p>第 8 週 中間試験「複素関数」(試験時間 90 分)</p> <p>第 9 週 「フーリエ変換」(フーリエ級数展開の導入) [予習内容]: 既習単元「Σ 記号」「積分法」の復習 [復習内容]: プリント「フーリエ変換の練習問題」</p> <p>第 10 週 「フーリエ変換」(フーリエ級数展開の計算) [予習内容]: 既習単元「偶関数/奇関数」の復習 [復習内容]: プリント「フーリエ変換の練習問題」</p> <p>第 11 週 「フーリエ変換」(複素フーリエ級数展開の計算) [予習内容]: 既習単元「複素数」の復習 [復習内容]: プリント「フーリエ変換の練習問題」</p> <p>第 12 週 「フーリエ変換」(フーリエ変換の導入) [予習内容]: 既習単元「積分法」の復習 [復習内容]: プリント「フーリエ変換の練習問題」</p> <p>第 13 週 「フーリエ変換」(フーリエ変換の計算) [予習内容]: 既習単元「積分法」の復習 [復習内容]: プリント「フーリエ変換の練習問題」</p> <p>第 14 週 「フーリエ変換」(フーリエ変換の応用例) [予習内容]: 既習単元「積分法」の復習 [復習内容]: プリント「フーリエ変換の練習問題」</p> <p>第 15 週 期末試験「フーリエ変換」(試験時間 90 分)</p> | | <p>■ 授業概要・方法等 「複素関数」の導入から微分法までの部分と、「フーリエ変換」の概要を解説します。</p> <p>■ 使用言語 日本語</p> <p>■ 学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)(A-1)複素関数とはどのようなものかを理解する。 2. (A-G1)(A-1)複素関数の基本計算や微分をする。 3. (A-G1)(A-1)フーリエ級数展開・フーリエ変換とはどのようなものかを理解する。 4. (A-G1)(A-1)フーリエ級数展開・フーリエ変換をする。 ことができるようになります。この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。</p> <p>■ 試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。</p> <p>■ 教科書 指定しません。適宜プリントを配布します。</p> <p>■ 参考文献 なし</p> <p>■ 関連科目 基礎数学、微分積分学 I、微分積分学 II、応用数学</p> <p>■ 成績評価方法および基準 種類: 定期試験 (2 回) 方式: 記述式 定期考査成績: 課題 (50%)、定期試験 (50%) で評価します。 最終成績: 定期考査成績の平均とします。 90 点以上「秀」、80 点以上～89 点未満「優」、70 点以上～80 点未満「良」、60 点以上～70 点未満「可」、60 点未満「不可」</p> <p>■ 授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) 関連する既習単元の復習。 配布するプリントの練習問題。</p> <p>■ 教員所在場所 図書館 2 階 学習指導室</p> <p>■ 授業評価アンケート実施方法 10 月に授業アンケートを実施します。 第 1 回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■ メールアドレス kanda@kct.ac.jp</p> <p>■ オフィスアワー 月曜日 10 限</p> | |

| | | | |
|---|--------|--|----------------|
| 科目名: 解析学 4b | | | |
| 英文名: Analysis 4b | | | |
| 担当者: 神田 毅 | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 研究員としてシンクタンクに勤務。ソフトウェア開発を担当。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: | 後期 コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 1 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p style="text-align: center;">「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 「ガイダンス」[偏微分的应用](接平面) [予習内容]: 既習単元「偏微分法」の復習 [復習内容]: 「新微積分Ⅱ」の「偏微分的应用」の残りの問題</p> <p>第 2 週 「偏微分的应用」(合成関数の偏微分) [予習内容]: 既習単元「偏微分法」の復習 [復習内容]: 「新微積分Ⅱ」の「偏微分的应用」の残りの問題</p> <p>第 3 週 「偏微分的应用」(多項式近似) [予習内容]: 既習単元「偏微分法」の復習 [復習内容]: 「新微積分Ⅱ」の「偏微分的应用」の残りの問題</p> <p>第 4 週 「偏微分的应用」(停留点・極大/極小・ヘッセ行列式) [予習内容]: 既習単元「偏微分法」の復習 [復習内容]: 「新微積分Ⅱ」の「偏微分的应用」の残りの問題</p> <p>第 5 週 「偏微分的应用」(停留点・極大/極小・ヘッセ行列式) [予習内容]: 既習単元「偏微分法」の復習 [復習内容]: 「新微積分Ⅱ」の「偏微分的应用」の残りの問題</p> <p>第 6 週 「偏微分的应用」(条件付き極値問題) [予習内容]: 既習単元「偏微分法」の復習 [復習内容]: 「新微積分Ⅱ」の「偏微分的应用」の残りの問題</p> <p>第 7 週 「偏微分的应用」(包絡線) [予習内容]: 既習単元「偏微分法」の復習 [復習内容]: 「新微積分Ⅱ」の「偏微分的应用」の残りの問題</p> <p>第 8 週 中間試験「偏微分的应用」(試験時間 90 分)</p> <p>第 9 週 「重積分的应用」(座標軸の回転) [予習内容]: 既習単元「重積分法」の復習 [復習内容]: 「新微積分Ⅱ」の「重積分的应用」の残りの問題</p> <p>第 10 週 「重積分的应用」(極座標による 2 重積分) [予習内容]: 既習単元「重積分法」の復習 [復習内容]: 「新微積分Ⅱ」の「重積分的应用」の残りの問題</p> <p>第 11 週 「重積分的应用」(変数変換・ヤコビ行列式) [予習内容]: 既習単元「重積分法」の復習 [復習内容]: 「新微積分Ⅱ」の「重積分的应用」の残りの問題</p> <p>第 12 週 「重積分的应用」(変数変換・ヤコビ行列式) [予習内容]: 既習単元「重積分法」の復習 [復習内容]: 「新微積分Ⅱ」の「重積分的应用」の残りの問題</p> <p>第 13 週 「重積分的应用」(広義重積分) [予習内容]: 既習単元「重積分法」の復習 [復習内容]: 「新微積分Ⅱ」の「重積分的应用」の残りの問題</p> <p>第 14 週 「重積分的应用」(体積) [予習内容]: 既習単元「重積分法」の復習 [復習内容]: 「新微積分Ⅱ」の「重積分的应用」の残りの問題</p> <p>第 15 週 期末試験「重積分的应用」(試験時間 90 分)</p> | | <p>■授業概要・方法等 必修科目の「応用数学」で扱う偏微分、重積分の計算の続きで、それらの応用を解説します。</p> <p>■使用言語 日本語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)(A-1)偏微分法を用いて極大・極小、条件付き極値問題等々を解く。 2. (A-G1)(A-1)変数変換が必要な重積分の計算をすることができるようになります。この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。</p> <p>■教科書 「新 微積分学Ⅱ」(大日本図書), 2013, ISBN978-4-477-02685-5</p> <p>■参考文献 「新 微積分Ⅱ 問題集」大日本図書, 2013, ISBN978-4-477-02687-9</p> <p>■関連科目 基礎数学、微積分学Ⅰ、微積分学Ⅱ、応用数学</p> <p>■成績評価方法および基準 種類: 定期試験 (2 回) 方式: 記述式 定期考査成績: 課題 (50%)、定期試験 (50%) で評価します。 最終成績: 定期考査成績の平均とします。 90 点以上「秀」、80 点以上～89 点未満「優」、70 点以上～80 点未満「良」、60 点以上～70 点未満「可」、60 点未満「不可」</p> <p>■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) 関連する既習単元の復習。 「新 微積分学Ⅱ」のうちで、講義で扱わなかった問題。</p> <p>■教員所在場所 図書館 2 階 学習指導室</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 2 月に授業アンケートを実施します。 第 1 回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス kanda@ktc.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 月曜日 10 限</p> | |

| | | | |
|---|----------|--|-------------|
| 科目名: 中国語 初級 a | | | |
| 英文名: Chinese(beginner's class)a | | | |
| 担当者: 小林 千津(王樹岩) | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 中国出身、通訳、翻訳として勤務。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: | 前期 コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 0.5 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授業概要 | |
| <p>「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 ガイダンス(中国語の概要及び授業の進め方) 予習内容: 中国語の文字、文法の特徴について調べる(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 2 週 発音編(音節の成り立ち、母音1) 予習内容: 中国語音節の成り立ち、声調、基本になる母音について調べる(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 3 週 発音編(子音、母音2) 予習内容: 子音、複合母音について調べる(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 4 週 発音編(母音3) 予習内容: 鼻音を伴う母音、軽声、発音の r 化について調べる(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 5 週 発音編(声調の変化、音節のつづり方1) 予習内容: 第3声の変化、音節のつづり方について調べる(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 6 週 発音編(音節のつづり方2) 予習内容: 音節のつづり方、声調符号の位置について調べる(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 7 週 発音編(発音の総合練習) 予習内容: 有気音と無気音の違い、単語や挨拶語の読み方について調べる(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 8 週 ここまでの発音編について総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容: 第1週から第7週で習ったことについて調べる(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 9 週 第1課 人称代名詞、挨拶語、名字の聞き方 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第10週 第2課 感謝、お詫びの表現、別れの挨拶 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第11週 第3課 名前の聞き方、常用名字と名前 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第12週 第1課～第3課の復習 予習内容: これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。</p> <p>第13週 第4課 名詞述語文、“不”の声調変化、“也”の使い方 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第14週 第5課 反復疑問文、副詞“都” 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第15週 総復習 予習内容: これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分) 定期試験: 第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(筆記時間50分)</p> | | <p>■授業概要・方法等</p> <p>授業概要: この授業は初めて中国語を勉強するものを対象とし、中国語の発音から基本文型と初歩的な会話を学ぶ。授業は前半において発音・声調を集中的に習い、後半は挨拶語や名詞述語文を中心に基礎文法を修得しつつ、初歩的な会話練習を繰り返すことによって、発音・声調と基礎文型の習熟度を高めていく。</p> <p>授業方法: ①日本語ローマ字と比べながらピンインを教える。 ②各課の文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせる。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげる。</p> <p>■使用言語 日本語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 ① (E-G2)(E-2) 言語学、音韻学的に中国語を理解し、中国語の基礎学力を身につける。 ②(E-G2)(E-2)中国語発音記号(ピンイン)を知る、書く、聞く、話す。 ③(E-G2)(E-2)字引きを利用する。 ④(E-G2)(E-2)中国語で挨拶する。 ⑤(E-G2)(E-2)簡単な自己紹介をする。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与しています。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。</p> <p>■教科書 鈴木律子著〔標準高校中国語〕白帝社 ISBN978-4-86398-243-7</p> <p>■参考文献 その他の教材。</p> <p>■関連科目 特にありません。</p> <p>■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回) 方式: 記述式, リスニング 定期考査成績: 定期試験(100%) (中間) 記述式 70%、リスニング 30%。 (期末) 記述式 60%、リスニング 30%。 夏季課題(プリント) 10%。(期末点に加算します。) 最終成績: 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」と評定します。</p> <p>■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) 左記に記載した予習や復習を行い、テキストのCDを繰り返し聞き、毎回授業で習ったピンイン、単語、文を何度も発音して覚えること。</p> <p>■教員所在場所 図書館1階 職員室</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 10月に授業アンケートを実施します。第1回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 土曜日(12:15～12:40)</p> | |

| | | | |
|--|----------|---|--------|
| 科目名: 中国語 初級b | | | |
| 英文名: Chinese(beginner's class)b | | | |
| 担当者: 小林 千津(王樹岩) | | 開講年度: 2019年度(平成31年度) | |
| 実務経験の内容: 中国出身、通訳、翻訳として勤務。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICTを活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: 後期 | コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 0.5 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授業概要 | |
| <p>「授業タイトル」</p> <p>第1週 第6課 指示代詞、疑問詞“什么”(一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第2週 第6課 指示代詞、疑問詞“什么”(二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第3週 第7課 所属・所有、指示代詞(複数)、疑問詞“谁”(一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第4週 第7課 所属・所有、指示代詞(複数)、疑問詞“谁”(二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第5週 第6課～第7課の復習 予習内容: これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分)</p> <p>第6週 第8課 動詞述語文、“呢”を用いた疑問文(一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第7週 第8課 動詞述語文、“呢”を用いた疑問文(二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第8週 第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容: 第1週から第7週で習ったことについて調べる(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第9週 第9課 形容詞述語文、反復疑問文2(一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第10週 第9課 形容詞述語文、反復疑問文2(二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第11週 第10課 所有を表す“有”、10までの数字、お金の単位(一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第12週 第10課 所有を表す“有”、10までの数字、お金の単位(二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第13週 第11課 動詞“在”、“一”の声調変化(一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第14週 第11課 動詞“在”、“一”の声調変化(二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第15週 総復習 予習内容: これまで学習した発音や単語、文法事項、本文を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分) 定期試験: 第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(筆記時間50分)</p> | | <p>■授業概要・方法等</p> <p>授業概要: 前期に引き続き、述語文を一通り学び、指示代詞、疑問詞、所属・所有、数字などの使い方について学習する。</p> <p>授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教える。 ②各課の文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせる。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげる。</p> <p>■使用言語 日本語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 ①(E-G2)(E-2)新出単語を書く。 ②(E-G2)(E-2)各課の文法事項を理解する。 ③(E-G2)(E-2)各課の本文を読む、書く、話す、聞く。 ④(E-G2)(E-2)学習した単語や文型を利用して、簡単な文を書く。 ことができるようになります。</p> <p>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与していません。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。</p> <p>■教科書 鈴木律子著〔標準高校中国語〕白帝社 ISBN978-4-86398-243-7</p> <p>■参考文献 その他の教材。</p> <p>■関連科目 特にありません。</p> <p>■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回) 方式: 記述式, リスニング 定期考査成績: 定期試験(100%) (中間)記述式70%、リスニング30%。 (期末)記述式70%、リスニング30%。</p> <p>最終成績: 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」と評定します。</p> <p>■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) 左記に記載した予習や復習を行い、テキストの音声CDを繰り返し聞き、毎回授業で習った単語、文を何度も発音して覚えること。</p> <p>■教員所在場所 図書館1階 職員室</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 2月に授業アンケートを実施します。第1回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 土曜日(12:15～12:40)</p> | |

| | | | |
|--|----------|---|--------|
| 科目名: 中国語 中級 a | | | |
| 英文名: Chinese(intermediate class)a | | | |
| 担当者: 小林 千津(王樹岩) | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 中国出身、通訳、翻訳として勤務。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: 前期 | コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 0.5 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p>「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 第12課 助数詞、曜日 (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 2 週 第12課 助数詞、曜日 (二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 3 週 第13課 疑問代詞、動詞の重ね方、10以上の数字 (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 4 週 第13課 疑問代詞、動詞の重ね方、10以上の数字 (二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 5 週 第12課～第13課の復習 予習内容: これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分)</p> <p>第 6 週 第14課 時間、状態の変化“了” (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 7 週 第14課 時間、状態の変化“了” (二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 8 週 第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容: 第1週から第7週で習ったことについて調べる(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分)</p> <p>第 9 週 第15課 月日・曜日の表し方、“太”の使い方 (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第10週 第15課 月日・曜日の表し方、“太”の使い方 (二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第11週 第16課 時を表す文、一日の行動 (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第12週 第16課 時を表す文、一日の行動 (二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第13週 第17課 時間を表す語2、“喜欢”の使い方(一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第14週 第17課 時間を表す語2、“喜欢”の使い方(二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第15週 総復習 予習内容: 第9週から第14週で学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分)</p> <p>定期試験: 第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(筆記時間50分)</p> | | <p>■授業概要・方法等</p> <p>授業概要: 「中国語初級」で習得した発音を定着させつつ、基礎文法、基礎語彙、基礎会話を習得する。それにより中国語コミュニケーション基礎表現力の向上を図る。 前期において、場所、時間、月日、曜日の表し方や疑問代詞、助数詞、動詞の重ね型などについて学習する。</p> <p>授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教える。 ②単語、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせる。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげる。</p> <p>■使用言語 日本語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 ①(E-G2)(E-2)新出単語を書く。 ②(E-G2)(E-2)各課の文法事項を理解する。 ③(E-G2)(E-2)各課の本文を読む、書く、話す、聞く。 ④(E-G2)(E-2)学習した単語や文型を利用して、文を書く。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与しています。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。</p> <p>■教科書 鈴木律子〔標準高校中国語〕白帝社 ISBN978-4-86398-243-7</p> <p>■参考文献 その他の教材。</p> <p>■関連科目 特にありません。</p> <p>■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回) 方式: 記述式, リスニング 定期考査成績: 定期試験(100%) (中間)記述式 70%、リスニング 30%。 (期末)記述式 60%、リスニング 30%。 夏季課題(プリント) 10%。(期末点に加算します。)</p> <p>最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90 点以上 「秀」、80 点以上～90 点未満 「優」、70 点以上～80 点未満 「良」、60 点以上～70 点未満 「可」、60 点未満 「不可」と評定します。</p> <p>■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) 左記に記載した予習や復習を行い、テキストの音声CDを繰り返し聞き、毎回授業で習った単語、文を何度も発音して覚えること。</p> <p>■教員所在場所 図書館1階 職員室</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 10月に授業アンケートを実施します。第1回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 土曜日(12:15～12:40)</p> | |

| | | | |
|---|----------|---|--------|
| 科目名: 中国語 中級 b | | | |
| 英文名: Chinese(intermediate class)b | | | |
| 担当者: 小林 千津(王樹岩) | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 中国出身、通訳、翻訳として勤務。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: 後期 | コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 0.5 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p>「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 第18課 完了の表現、“怎么”、前置詞“给”(一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 2 週 第18課 完了の表現、“怎么”、前置詞“给”(二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 3 週 第19課 連動文、過去の経験、伝聞を表す“听说”(一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 4 週 第19課 連動文、過去の経験、伝聞を表す“听说”(二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 5 週 第18課～第19課の復習 予習内容: これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分)</p> <p>第 6 週 第20課 “可以”、“想”、中国の外来語(一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 7 週 第20課 “可以”、“想”、中国の外来語(二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 8 週 第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容: 第1週から第7週で習ったことについて調べる(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 9 週 第21課 “会”、“能”(一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第10週 第21課 “会”、“能”(二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第11週 第21課の復習 予習内容: 第21課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分)</p> <p>第12週 第22課 助動詞“要”、前置詞“跟”、“在”(一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第13週 第22課 助動詞“要”、前置詞“跟”、“在”(二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第14週 第22課の復習 予習内容: 第22課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分)</p> <p>第15週 総復習 予習内容: これまで学習した発音や単語、文法事項、本文を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分) 定期試験: 第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(筆記時間50分)</p> | | <p>■授業概要・方法等</p> <p>授業概要: 前期に引き続き、完了や経験などを表す文、連動文、伝聞の表現、助動詞や前置詞などについて学習する。</p> <p>授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教える。 ②各課の基本文型や文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせる。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげる。</p> <p>■使用言語 日本語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 ①(E-G2)(E-2)新出単語を書く。 ②(E-G2)(E-2)各課の文法事項を理解する。 ③(E-G2)(E-2)各課の本文を読む、書く、話す、聞く。 ④(E-G2)(E-2)学習した単語や文型を利用して、文を書く。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与しています。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。</p> <p>■教科書 鈴木律子[標準高校中国語]白帝社 ISBN978-4-86398-243-7</p> <p>■参考文献 その他の教材。</p> <p>■関連科目 特にありません。</p> <p>■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回) 方式: 記述式, リスニング 定期考査成績: 定期試験(100%) (中間)記述式 70%、リスニング 30%。 (期末)記述式 70%、リスニング 30%。</p> <p>最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90 点以上「秀」、80 点以上～90 点未満「優」、70 点以上～80 点未満「良」、60 点以上～70 点未満「可」、60 点未満「不可」と評定します。</p> <p>■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) 左記に記載した予習や復習を行い、テキストの音声CDを繰り返し聞き、毎回授業で習った単語、文を何度も発音して覚えること。</p> <p>■教員所在場所 図書館1階 職員室</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 2月に授業アンケートを実施します。第1回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス kobayashi@kct.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 土曜日(12:15～12:40)</p> | |

| | | | |
|--|----------|--|--------|
| 科目名: 中国語 上級 a | | | |
| 英文名: Chinese(upper class)a | | | |
| 担当者: 小林 千津(王樹岩) | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 中国出身、通訳、翻訳として勤務。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: 前期 | コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 0.5 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p>「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 第23課 持続の表現、動作の回数“次”、方位詞 (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 2 週 第23課 持続の表現、動作の回数“次”、方位詞 (二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 3 週 第24課 進行を表す“在” (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 4 週 第24課 進行を表す“在” (二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 5 週 第23課～第24課の復習 予習内容: これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分)</p> <p>第 6 週 第25課 主述述語文、助動詞“要” (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 7 週 第25課 主述述語文、助動詞“要” (二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 8 週 第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容: 第1週から第7週で習ったことについて調べる(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 9 週 第26課 前置詞“離”、副詞“就”の使い方 (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第10週 第26課 前置詞“離”、副詞“就”の使い方 (二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第11週 第26課の復習 予習内容: 第26課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分)</p> <p>第12週 第27課 程度補語、選択疑問文 (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第13週 第27課 程度補語、選択疑問文 (二) 予習内容: 第27課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 本文を翻訳しておく。(60分)</p> <p>第14週 第27課の復習 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分)</p> <p>第15週 総復習 予習内容: 第9週から第14週で学習した発音や単語、文法事項、本文を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分) 定期試験: 第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(筆記時間50分)</p> | | <p>■授業概要・方法等</p> <p>授業概要: 「中国語初級」、「中国語中級」で習得した発音、基礎文法、基礎語彙を定着させつつ、更なる文法事項や語彙、会話表現を習得する。 前期において、持続、進行を表す文や主述述語文、選択疑問文、方位詞、程度補語、前置詞“離”、副詞“就”などの使い方について学習する。</p> <p>授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教える。 ②各課の基本文型や文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせる。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげる。</p> <p>■使用言語 日本語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 ①(E-G2)(E-2)新出単語を書く。 ②(E-G2)(E-2)各課の文法事項を理解する。 ③(E-G2)(E-2)各課の本文を読む、書く、話す、聞く。 ④(E-G2)(E-2)学習した単語や文型を利用して、文を書く。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与しています。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。</p> <p>■教科書 鈴木律子(標準高校中国語)白帝社 ISBN978-4-86398-243-7</p> <p>■参考文献 その他の教材。</p> <p>■関連科目 特にありません。</p> <p>■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回) 方式: 記述式、リスニング 定期考査成績: 定期試験(100%) (中間)記述式 70%、リスニング 30%。 (期末)記述式 60%、リスニング 30%。 夏季課題(プリント) 10%。(期末点に加算します。) 最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90 点以上「秀」、80 点以上～90 点未満「優」、70 点以上～80 点未満「良」、60 点以上～70 点未満「可」、60 点未満「不可」と評定します。</p> <p>■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) 左記に記載した予習や復習を行い、テキストの音声CDを繰り返し聞き、毎回授業で習った単語、文を何度も発音して覚えること。</p> <p>■教員所在場所 図書館1階 職員室</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 10月に授業アンケートを実施します。 第1回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス kobayashi@kctc.ac.jp ■オフィスアワー 土曜日(12:15～12:40)</p> | |

| | | | |
|---|----------|---|--------|
| 科目名: 中国語 上級 b | | | |
| 英文名: Chinese(upper class)b | | | |
| 担当者: 小林 千津(王樹岩) | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 中国出身、通訳、翻訳として勤務。 | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: 後期 | コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 0.5 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授業概要 | |
| <p>「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 第28課 “是・・・・的”の文、二重目的語の文 (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 2 週 第28課 “是・・・・的”の文、二重目的語の文 (二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 3 週 第29課 比較の文 (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 4 週 第29課 比較の文 (二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 5 週 第28課～第29課の復習 予習内容: これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分)</p> <p>第 6 週 第30課 結果補語、前置詞“从” (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 7 週 第30課 結果補語、前置詞“从” (二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 8 週 第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容: 第1週から第7週で習ったことについて調べる(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第 9 週 第31課 方向補語、自然現象の表し方 (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第10週 第31課 方向補語、自然現象の表し方 (二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第11週 第31課の復習 予習内容: 第31課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分)</p> <p>第12週 第32課 “打算”、“祝”の使い方 (一) 予習内容: 単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第13週 第32課 “打算”、“祝”の使い方 (二) 予習内容: 本文を翻訳しておく。(60分) 復習内容: 授業内容を読み返し、理解を深める。(30分)</p> <p>第14週 第32課の復習 予習内容: 第32課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分)</p> <p>第15週 総復習 予習内容: これまで学習した発音や単語、文法事項、本文を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分) 復習内容: 復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(30分)</p> <p>定期試験: 第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。 (筆記時間50分)</p> | | <p>■授業概要・方法等</p> <p>授業概要: 後期において、過去の事実、2つ目的語をとる動詞、比較、結果補語、形容詞などについて学習する。</p> <p>授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教える。 ②各課の基本文型や文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせる。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげる。</p> <p>■使用言語 日本語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 ①(E-G2)(E-2)新出単語を書く。 ②(E-G2)(E-2)各課の文法事項を理解する。 ③(E-G2)(E-2)各課の本文を読む、書く、話す、聞く。 ④(E-G2)(E-2)学習した単語や文型を利用して、文を書く。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー Bの達成に関与しています。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。</p> <p>■教科書 鈴木律子[標準高校中国語]白帝社 ISBN978-4-86398-243-7</p> <p>■参考文献 その他の教材。</p> <p>■関連科目 特にありません。</p> <p>■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回) 方式: 記述式, リスニング 定期考査成績: 定期試験(100%) (中間) 記述式 70%、リスニング 30%。 (期末) 記述式 70%、リスニング 30%。</p> <p>最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90 点以上「秀」、80 点以上～90 点未満「優」、70 点以上～80 点未満「良」、60 点以上～70 点未満「可」、60 点未満「不可」と評定します。</p> <p>■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) 左記に記載した予習や復習を行い、テキストの音声CDを繰り返し聞き、毎回授業で習った単語、文を何度も発音して覚えること。</p> <p>■教員所在場所 図書館1階 職員室</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 2月に授業アンケートを実施します。 第1回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 土曜日(12:15～12:40)</p> | |

| | | | |
|--|-------|---|---------------|
| 科目名：韓国語 Ia | | | |
| 英文名：Korean Language Ia | | | |
| 担当者：李辰淑 | | 開講年度：2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容： 非常勤講師として私立高校、県立高校に勤めていた | | アクティブ・ラーニングの形態：該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング：該当なし | |
| 工学科：総合システム | 学年：4 | 開講期： | 前期 コース：全 |
| 科目種別：選択 | 単位数：I | 単位の種別：履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p>「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 「韓国の紹介」 1 課：韓国語とは ハングル文字のしくみ 文字と発音(1)単母音、初声 1(鼻音・流音)、 [予習内容]:ハングル文字の仕組みを事前に調べる [復習内容]:授業内容を復習して(WEB 映像+音声を参考) 基本文字を覚える</p> <p>第 2 週 「1 課：文字と発音(1)単母音、初声 1(鼻音・流音) 半母音+単母音、終声 1」 [予習内容]:1 課 WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して基本文字を覚える。</p> <p>第 3 週 「1 課応用と復習」 「2 課：文字と発音(2)初声 2(平音)発音の規則、有声音化」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して基本文字を覚える。</p> <p>第 4 週 「2 課：文字と発音(2)、初声 2(平音)発音の規則・有声音化」 半母音+単母音(二重母音)、連音化 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して基本文字を覚える。</p> <p>第 5 週 「3 課：文字と発音(3)初声 3(激音)、初声 4(濃音)」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して基本文字を覚える。</p> <p>第 6 週 「3 課:]終声 2、濃音化 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して基本文字を覚える。</p> <p>第 7 週 「1 課～3 課までの応用と復習」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第 8 週 「4 課 韓国人です。鼻音化、～は、～です。～ですか？」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第 9 週 「答案返却と解答」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第10週 「4 課：～と申します。～といいます。」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第11週 「5 課：韓国語は専攻ではありません ～が、丁寧表現 ～です。～ですか？ 激音化」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第12週 「5 課 ～ではありません。」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第13週 「6 課：講義室は階段の横にあります。漢教詞」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第14週 「6 課：～に～あります。～ありません。～いません。」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第15週 「4 課～6 課までの応用と復習。」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>定期試験 第 1 週から第 8 週までの講義内容及び第 9 週から第 15 週までの講義内容について筆記とリスニング試験を行う。(試験時間 50 分)</p> | | <p>■授業概要・方法等 テキストを中心に日本語の あ、い、う、え、お、にあたる韓国語の単母音から覚え始め、読み、書き、聞き取り、基礎力をしっかり正確に身につける事を目標にする。</p> <p>■使用言語 日本語 韓国語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)韓国語を確実に学んで簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、語学力をしっかりと身につけ言葉の理解が出来るようにする。 2. (E-G2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解することはできない、韓国の言葉を通して見えてくるその隣国の文化の理解を深める事が出来、これからの日韓の友好関係の持続の為、若者の communication 場を広げるきっかけになる事を目標にする。 この科目の履修は本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー-B の達成に関与している。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 定期試験及び課題の模範解答を提示して答え合わせる。</p> <p>■教科書 (韓国語の世界へ) 入門編 ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー 朝日出版社 ISBN978-4-255-55647-5 C1087 ￥2300+税</p> <p>■参考文献 ★Google 翻訳機、エキサイト翻訳、 ★朝鮮語辞書 小学館、金星出版社</p> <p>■関連科目 特になし</p> <p>■成績評価方法および基準 種類：定期試験(2 回)、方式：記述式、リスニング 定期考査成績：定期試験結果の点数のみで評価します。 最終成績：2 回の定期考査成績の平均点+夏季課題 10 点で評価します。 90 点以上(秀)、80 点以上～90 点未満「優」、70 点以上～80 点未満「良」、60 点以上～70 点未満「可」、60 点未満「不可」とします。</p> <p>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 科目が始まる前 WEB 映像+音声をダウンロードして事前に聴いて発音に慣れる事と単語を覚える事。</p> <p>■教員所在場所 図書館 1 階</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 2 月に授業アンケートを実施します。 第 1 回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス Sook127@asint.jp</p> <p>■オフィスアワー 土曜日(8:35～12:30)</p> | |

| | | | |
|--|-------|--|-------|
| 科目名：韓国語 I b | | | |
| 英文名：Korean Language Ib | | | |
| 担当者：李辰淑 | | 開講年度：2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容： 非常勤講師として私立高校、県立高校に勤めていた | | アクティブ・ラーニングの形態：該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング：該当なし | |
| 工学科：総合システム | 学年：4 | 開講期：後期 | コース：全 |
| 科目種別：選択 | 単位数：I | 単位の種別：履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p>「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 「答案返却と解答」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第 2 週 「第7課 :午後時間は大丈夫ですか？」 へヨ体(1) 助詞 ～を ～も」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第 3 週 「8課: 小学生にデコンドを教えてください。 へヨ体(2)、指示詞」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第 4 週 「8課 へヨ体(2)、助詞～で 助詞 ～に(人、動物など)」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第 5 週 「9課: ふつう、6時に起きます。 へヨ体(3) :～で 移動の起点 ～から、～まで。」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第 6 週 「9課:固有数詞 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第 7 週 「10課—野球がとても好きです。 へヨ体(4)하디用言 ～しに」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第 8 週 「10課: 時の起点と終点～から～まで」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第 9 週 「へヨ体1, 2, 3, 4の応用と復習」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する [復習内容] 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第10週 「答案返却と解答」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第11週 「11課 :昼ごはん、食べなかったですか？」 「過去形」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第12週 「11課 :으語幹の用言 ～しない、～くない」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第13週 「11課過去形の応用と復習」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する 復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第14週 「12課 春休みに何をしますつもりですか？」 「～されます・お～です・～でいらっしやいます。」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第15週 「12課 ～するつもりです・～するでしょう。～したい」 [予習内容]:WEB 映像+音声を聴いて理解する [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>定期試験 第 1 週から第 9 週までの講義内容及び第 10 週から第 15 週までの講義内容について筆記とリスニング試験を行う。(試験時間 50 分)</p> | | <p>■授業概要・方法等 テキストを中心に日本語の あ、い、う、え、お、にあたる韓国語の単母音から覚え始め、読み、書き、聞き取り、基礎力をしっかり正確に身につける事を目標にする。</p> <p>■使用言語 日本語 韓国語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)韓国語を確実に学んで簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、語学力をしっかりと身につけ言葉の理解が出来るようにする。 2. (E-G2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解することはできない、韓国の言葉を通して見えてくるその隣国の文化の理解を深める事が出来、これからの日韓の友好関係の持続の為、若者の communication 場を広げるきっかけになる事を目標にする。 この科目の履修は本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与している。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 定期試験及び課題の模範解答を提示して答え合わせる。</p> <p>■教科書 (韓国語の世界へ) 入門編 一コツコツ学び、カジュアルに話そうー 朝日出版社 ISBN978-4-255-55647-5 C1087 ¥2300+税</p> <p>■参考文献 ★Google 翻訳機、エキサイト翻訳、 ★朝鮮語辞書 小学館、金星出版社</p> <p>■関連科目 特になし</p> <p>■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回)、方式: 記述式、リスニング 定期考査成績: 定期試験結果の点数のみで評価します。 最終成績: 2回の定期考査成績の平均点+冬季課題10点で評価します。 90点以上(秀)、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」とします。</p> <p>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 科目が始まる前 WEB 映像+音声をダウンロードして事前に聴いて発音に慣れる事と単語を覚える事。</p> <p>■教員所在場所 図書館館 1 階</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 2 月に授業アンケートを実施します。 第 1 回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス Sook127@asint.jp</p> <p>■オフィスアワー 土曜日(8:35～12:30)</p> | |

| | | | |
|---|--------|--|----------------|
| 科目名: 韓国語Ⅱa | | | |
| 英文名: Korean Language Ⅱa | | | |
| 担当者: 李辰淑 | | 開講年度: 2019年度(平成31年度) | |
| 実務経験の内容: 非常勤講師として私立高校、県立高校に勤めていた | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICTを活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: | 前期 コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: I | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p>「授業タイトル」</p> <p>第1週 「1課: 何学番ですか?」 へヨ体1, 2, 3, 4(하디用言), 〇語幹の用言応用と復習 [予習内容]:へヨ体の基本をしっかり身につける。 [復習内容]:へヨ体現在形、過去形 単語の暗記</p> <p>第2週 「1課:へヨ体1, 2, 3, 4、〇語幹の用言応用と復習ハムニダ体」 [予習内容]:CDを聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第3週 「2課: 韓国語を一所懸命勉強するつもりです。 ～するつもりです、～するでしょう」 [予習内容]:CDを聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第4週 「2課: ～して、～くて、～で ～でしょう?」 [予習内容]:CDを聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第5週 「3課:あの靴、ちょっと見せてください。」 ～だが、～けれど、形容詞の現在連体 [予習内容]:CDを聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第6週 「3課: ～してあげる、～してください。」 [予習内容]:CDを聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第7週 「4課: 良く行く韓国料理屋さんがあれば紹介してください。」 ～れば、～たら 動詞, 存在詞の現在連体形～する [予習内容]:CDを聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第8週 「4課:用言の否定文～しない、～くない、～ではない。」 [予習内容]:CDを聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第9週 「答案返却と解答」 [予習内容]:CDを聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第10週 「5課: 一緒に撮った写真を添付致しました。」 動詞の過去連体形 [予習内容]:CDを聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第11週 「5課:～ですね。～ますね。ㄱ変則活用の用言」 [予習内容]:CDを聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第12週 「6課:発表時間に遅れてすみません。」 尊敬の接尾辞 ～なさる。」 [予習内容]:CDを聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第13週 「6課:理由、原因や因果関係～て、～ので」 [予習内容]:CDを聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>第14週 「6課: 動詞・存在詞の未来連体形～する、 不可能の意味の～できない [予習内容]:CDを聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する</p> <p>第15週 「動詞、形容詞、現在連体系、動詞過去形、 動詞・存在詞の未来連体形の応用と復習」 [予習内容]:CDを聴いて理解する。 [復習内容]:授業内容を復習して理解する。</p> <p>定期試験 第1週から第8週までの講義内容及び第9週から第15週までの講義内容について筆記とリスニング試験を行う。(試験時間 50分)</p> | | <p>■授業概要・方法等 テキストを中心に、正確な発音のしかた、書きかた、聞き取りを始め、今までの基礎を基に復習を重ねしっかり文の活用が出来る事を目標にし、日常生活、自己表現が出来るよう力付ける。</p> <p>■使用言語 日本語 韓国語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)韓国語を確実に学んで簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにする。 2. (E-G2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解することはできない、韓国の言葉を通して見えてくるその隣国の文化の理解を深める事が出来、これからの日韓の友好関係の持続の為、若者の communication 場を広げるきっかけになる事を目標にする。 この科目の履修は本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与している。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 定期試験及び課題の模範解答を提示して答え合わせる。</p> <p>■教科書 (韓国語の世界へ) 入門編 一コツコツ学び、カジュアルに話そうー 朝日出版社 ISBN978-4-255-55647-5 C1087 ¥2300+税</p> <p>■参考文献 ★Google 翻訳機、エキサイト翻訳、 ★朝鮮語辞書 小学館、金星出版社</p> <p>■関連科目 特になし</p> <p>■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回)、方式: 記述式、リスニング 定期考査成績: 定期試験結果の点数のみで評価します。 最終成績: 2回の定期考査成績の平均点+夏季課題10点で評価します。 90点以上(秀)、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」とします。</p> <p>■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 科目が始まる前付録のCDを事前に聴いて発音に慣れる事と本文の内容を理解する。</p> <p>■教員所在場所 図書館1階</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 2月に授業アンケートを実施します。 第1回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス Sook127@asint.jp</p> <p>■オフィスアワー 土曜日(8:35～12:30)</p> | |

| | | | |
|---|--------|---|--------|
| 科目名: 韓国語Ⅱb | | | |
| 英文名: Korean Language Ⅱb | | | |
| 担当者: 李辰淑 | | 開講年度: 2019年度(平成31年度) | |
| 実務経験の内容: 非常勤講師として私立高校、県立高校に勤めていた | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICTを活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: 後期 | コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: I | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p>「授業タイトル」</p> <p>第1週 「答案返却と解答」 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第2週 「7課: 暑い夏にサンゲタンを食べます。」 ～した事がある/～した事がない。 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第3週 7課: 動詞の持続, 進行～ている。「日変則活用」の用言」 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第4週 「8課: 重たく無いので一人でします。」 ～している。～ので/～だから」 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第5週 「8課: ～しますね/～しますから。」 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第6週 「9課: パソコンちょっと借りてもいいですか? ～けど」 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第7週 「9課: ～でもいい。日変則活用の用言,」 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第8週 「10課: リムジンバスの方が便利でしょうね? 話し手の維持や推量を表す接尾辞、～んですよ/～ですから」 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第9週 「10課: ～しなければならぬ。」 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第10週 「答案返却と解答」 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第11週 「11課: 陶磁器も作ってみましたか?」 ～でしょうか? ～ましようか?」 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第12週 「11課: ～してみる。～出来る/～出来ない」 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第13週 「12課: 韓国の会社に就職しようと思っています。」 連体形 ～するようだ/～したようだ/～しそうだ」 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第14週 「12課: ～したようだ/～しそうだ ～しようと思う。～してはいけない。」 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>第15週 「これまでの応用と復習」 [予習内容]: CDを聴いて理解する。 [復習内容]: 授業内容を復習して理解する。</p> <p>定期試験 第1週から第9週までの講義内容及び第10週から第15週までの講義内容について筆記とリスニング試験を行う。(試験時間 50分)</p> | | <p>■授業概要・方法等 テキストを中心に、正確な発音のしかた、書きかた、聞き取りを始め、今までの基礎を基に復習を重ねしっかり文の活用が出来る事を目標にし、日常会話、自己表現が出来るよう力付ける。</p> <p>■使用言語 日本語 韓国語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)韓国語を確実に学んで簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにする。 2. (E-G2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解することはできない、韓国の言葉を通して見えてくるその隣国の文化の理解を深める事が出来、これからの日韓の友好関係の持続の為、若者の communication 場を広げるきっかけになる事を目標にする。 この科目の履修は本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーBの達成に関与している。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 定期試験及び課題の模範解答を提示して答え合わせる。</p> <p>■教科書 (韓国語の世界へ) 入門編 一コツコツ学び、カジュアルに話そうー 朝日出版社 ISBN978-4-255-55647-5 C1087 ￥2300+税</p> <p>■参考文献 ★Google 翻訳機、エキサイト翻訳、 ★朝鮮語辞書 小学館、金星出版社</p> <p>■関連科目 特になし</p> <p>■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回)、方式: 記述式、リスニング 定期考査成績: 定期試験結果の点数のみで評価します。 最終成績: 2回の定期考査成績の平均点+夏季課題10点で評価します。 90点以上(秀)、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」とします。</p> <p>■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) 科目が始まる前付録のCDを事前に聴いて発音に慣れる事と本文の内容を理解する。</p> <p>■教員所在場所 図書館1階</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 2月に授業アンケートを実施します。 第1回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス Sook127@asint.jp</p> <p>■オフィスアワー 土曜日(8:35～12:30)</p> | |

| | | | |
|--|----------|--|--------|
| 科目名: 英語演習 4a | | | |
| 英文名: English Seminar 4a | | | |
| 担当者: 上田 透 | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: 前期 | コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 0.5 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p style="text-align: center;">「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 Unit 1 Music and the Mind [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 2 週 Unit 1 Music and the Mind [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 3 週 Unit 2 Body Language across Cultures [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 4 週 Unit 2 Body Language across Cultures [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 5 週 Unit 3 Turning Waste into Wealth [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 6 週 Unit 3 Turning Waste into Wealth [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 7 週 Unit 4 The Search for Other Worlds [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 8 週 Unit 4 The Search for Other Worlds [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 9 週 Unit 5 Crowdsourcing [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 10 週 Unit 5 Crowdsourcing [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 11 週 Unit 6 Urban Landmarks [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 12 週 Unit 6 Urban Landmarks [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 13 週 Unit 7 Food Safety [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 14 週 Unit 7 Food Safety [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 15 週 Unit 8 Spending a Fortune [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>定期試験 第 1 回から 15 回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間 50 分)</p> | | <p>■授業概要・方法等 教科書に沿った授業展開をし、様々なトピックを扱った英語を、読む、書く、聞く、話す活動を通して、トピックの理解に必要な語彙や文法を習得し、読解と聞き取りの能力向上を目指します。</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)(E-2)トピックの内容を把握するのに必須の語彙を習得する。 2. (E-G2)(E-2)英文の精読によって、読解力を身に着ける。 3. (E-G2)(E-2)トピックに関することを英語で表現することができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー E の達成に関与しています。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験開示を個々に行う。</p> <p>■教科書 Reading Fusion 1(南雲堂) 978-4-523-17664-0</p> <p>■参考文献 なし</p> <p>■関連科目 英語 1、英語 2、英語 3、英語 4、英語特講、TOEIC プラス、外国文献講義</p> <p>■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(1 回)、方式: 記述式 定期考査成績: 定期試験 100%で評価します。 最終成績: 1 回の定期考査の成績とします。 90 点以上「秀」、80 点以上～90 点未満「優」、70 点以上～80 点未満「良」、60 点以上～70 点未満「可」、60 点未満「不可」</p> <p>■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) 次の授業でやる箇所を予め辞書等を用いて調べておくこと 授業で指定された、単語、熟語、表現、文法事項を覚えること</p> <p>■教員所在場所 本館 1 階学生部</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 ○月に授業アンケートを実施します。 第 1 回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス ueda@ktc.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 月曜日と木曜日の 12 時 15 分～12 時 55 分</p> | |

| | | | |
|--|----------|--|--------|
| 科目名: 英語演習 4b | | | |
| 英文名: English Seminar 4b | | | |
| 担当者: 上田 透 | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: 前期 | コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 0.5 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| <p style="text-align: center;">「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 Unit 8 Spending a Fortune [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 2 週 Unit 9 Wonders of the Deep [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 3 週 Unit 9 Wonders of the Deep [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 4 週 Unit 10 Product Placement [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 5 週 Unit 10 Product Placement [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 6 週 Unit 11 White-collar Crime [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 7 週 Unit 11 White-collar Crime [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 8 週 Unit 12 Working Disabled [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 9 週 Unit 12 Working Disabled [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 10 週 Unit 13 Pet Therapy [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 11 週 Unit 13 Pet Therapy [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 12 週 Unit 14 Quantum Computer [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 13 週 Unit 14 Quantum Computer [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 14 週 Unit 15 Breaking the Poverty Cycle [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>第 15 週 Unit 15 Breaking the Poverty Cycle [予習内容]: 新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]: 授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分)</p> <p>定期試験 第 1 回から 15 回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間 50 分)</p> | | <p>■授業概要・方法等 教科書に沿った授業展開をし、様々なトピックを扱った英語を、読む、書く、聞く、話す活動を通して、トピックの理解に必要な語彙や文法を習得し、読解と聞き取りの能力向上を目指します。</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)(E-2)トピックの内容を把握するのに必須の語彙を習得する。 2. (E-G2)(E-2)英文の精読によって、読解力を身に着ける。 3. (E-G2)(E-2)トピックに関することを英語で表現することができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー E の達成に関与しています。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験開示を個々に行う。</p> <p>■教科書 Reading Fusion 1(南雲堂) 978-4-523-17664-0</p> <p>■参考文献 なし</p> <p>■関連科目 英語 1、英語 2、英語 3、英語 4、英語特講、TOEIC プラス、外国文献講義</p> <p>■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(1 回)、方式: 記述式 定期考査成績: 定期試験 100%で評価します。 最終成績: 1 回の定期考査の成績とします。 90 点以上「秀」、80 点以上～90 点未満「優」、70 点以上～80 点未満「良」、60 点以上～70 点未満「可」、60 点未満「不可」</p> <p>■授業時間外に必要な学修: 準備学習(予習・復習等) 次の授業でやる箇所を予め辞書等を用いて調べておくこと 授業で指定された、単語、熟語、表現、文法事項を覚えること</p> <p>■教員所在場所 本館 1 階学生部</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 ○月に授業アンケートを実施します。 第 1 回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス ueda@ktc.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 月曜日と木曜日の 12 時 15 分～12 時 55 分</p> | |

| | | | | |
|--|----------|-----------|--|--------|
| 科目名: 応用物理演習 a | | | | |
| 英文名: Advanced Exercises in Applied Physics a | | | | |
| 担当者: 畑山 伸訓 | | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 該当なし | | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: | 前期 | コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 0.5 | 単位の種別: 履修 | | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | | 授業概要 | |
| <p style="text-align: center;">「授業タイトル」</p> <p>第 1 週 「ガイダンス、単位系、次元」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>第 2 週 「物理のための数学の準備(微分・積分)」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>第 3 週 「物理のための数学の準備(ベクトル)」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>第 4 週 「変位、速度と加速度の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>第 5 週 「質点の力学(運動の法則)運動方程式(直線上)の基礎」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>第 6 週 「質点の力学(運動の法則)運動方程式(平面、空間)の基礎」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>第 7 週 「質点の力学(様々な力と運動方程式の問題1)」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>第 8 週 「質点の力学(様々な力と運動方程式の問題2)」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>第 9 週 「質点の力学(力積と運動量)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>第10週 「質点の力学(運動量保存の法則)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>第11週 「質点の力学(仕事、運動エネルギー)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>第12週 「質点の力学(位置エネルギーと保存力)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>第13週 「質点の力学(力学的エネルギー保存の法則)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>第14週 「質点系の力学(重心座標・2 体問題)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>第15週 「質点系の力学(全運動量と運動量保存則)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む (30 分) [復習内容]: 問題演習 (30 分)</p> <p>定期試験</p> | | | <p>■授業概要・方法等 技術者をめざす高専の学生を対象に、近代科学に対応する基礎学力と発展的学力の向上のため、現在の工学の基礎を少し掘り下げて、微積分と微分方程式を積極的に用いて重点的に学習します。</p> <p>■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって</p> <ol style="list-style-type: none"> (A-G1) (D-G1) 主に質点の力学に関する物理法則の意味を理解し、運動方程式等を作ることが出来る。 (A-G1) (D-G1) 微分積分、微分方程式の用法を理解し、運動方程式やエネルギーの問題を解くことができる。 (A-G1) (D-G1) 微分積分、微分方程式の用法を理解し、運動量の保存則の問題を解くことができる。 (A-G1) (D-G1) 主に質点の運動に対する問題集の章末練習問題程度の問題を解きます。 ができるようになります。 <p>■教科書 「高専の応用物理 第2版」 小暮陽三監修 森北出版 ■問題集 「基礎物理学演習 I, II」 サイエンス社 ■関連科目 物理 2a・2b・3a・3b, 応用物理 a,b ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(1回), 方式: 記述式 ならびに 課題 定期考査成績: 定期試験 80% 課題 20% で評価します。 最終成績: 定期試験成績を最終成績として評価します。 90 点以上「秀」、80 点以上 90 点未満「優」、70 点以上 80 点未満「良」、60 点以上 70 点未満「可」、60 点未満「不可」</p> <p>■授業時間外に必要な学修 各講義で指示された課題に取り組むこと ■教員所在場所 畑山: 教務部または図書館 2 階学習指導室 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に Web Class にて実施します。 ■メールアドレス 畑山: hatayama@tse.kut.ac.jp ■オフィスアワー 畑山(月曜日 9 限目)</p> | |

| | | | | |
|--|----------|-----------|--|--------|
| 科目名: 応用物理演習 a | | | | |
| 英文名: Advanced Exercises in Applied Physics a | | | | |
| 担当者: 畑山 伸訓 | | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容: 該当なし | | | アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし | |
| | | | ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: | 後期 | コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 0.5 | 単位の種別: 履修 | | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | | 授業概要 | |
| 「授業タイトル」 第 1 週 「答案返却・解答 質点系の力学(力のモーメント、角運動量)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 第 2 週 「質点系の力学(回転の運動方程式、角運動量保存則)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 第 3 週 「剛体の力学(慣性モーメント 1)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 第 4 週 「剛体の力学(慣性モーメント 2)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 第 5 週 「剛体の力学(固定軸周りの回転の運動方程式)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 第 6 週 「剛体の力学(回転の運動エネルギー)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 第 7 週 「剛体の力学(固定軸を持つ剛体の運動 1)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 第 8 週 「剛体の力学(固定軸を持つ剛体の運動 2)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 第 9 週 「振動(調和振動 1)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 第 10 週 「答案返却・解答 振動(調和振動 2)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 第 11 週 「振動(振動のエネルギー)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 第 12 週 「振動(減衰振動 1)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 第 13 週 「振動(減衰振動 2)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 第 14 週 「振動(強制振動と共振)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 第 15 週 「振動(LC および LCR 回路)の問題」 [予習内容]: 単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]: 問題演習(30 分) 定期試験 | | | ■授業概要・方法等 技術者をめざす高専の学生を対象に、近代科学に対応する基礎学力と発展的学力の向上のため、現在の工学の基礎を少し掘り下げて、微積分と微分方程式を積極的に用いて重点的に学習します。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって 1. (A-G1) (D-G1) 主に剛体・振動の力学に関する物理法則の意味を理解し、運動方程式等を作ることが出来る。 2. (A-G1) (D-G1) 微分積分、微分方程式の用法を理解し、剛体の運動方程式や慣性モーメントの問題を解くことができる。 3. (A-G1) (D-G1) 微分積分、微分方程式の用法を理解し、振動の問題を解くことができる。 4. (A-G1) (D-G1) 主に剛体・振動の運動に対する問題集の章末練習問題程度の問題を解きます。 ができるようになります。 ■教科書 「高専の応用物理 第 2 版」小暮陽三監修 森北出版 ■問題集 「基礎物理学演習 I, II」サイエンス社 ■関連科目 物理 2a・2b・3a・3b, 応用物理 a,b ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2 回), 方式: 記述式 ならびに 課題 定期考査成績: 定期試験 80% 課題 20% で評価します。 最終成績: 2 回の定期試験を平均して評価します。 90 点以上「秀」、80 点以上 90 点未満「優」、70 点以上 80 点未満「良」、60 点以上 70 点未満「可」、60 点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 各講義で指示された課題に取り組むこと ■教員所在場所 畑山: 教務部または図書館 2 階学習指導室 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に Web Class にて実施します。 ■メールアドレス 畑山: hatayama@tse.kut.ac.jp ■オフィスアワー 畑山(月曜日 9 限目) | |

| | | | |
|--|-------|--|-------|
| 科目名：課題研究 | | | |
| 英文名：Theme Research | | | |
| 担当者：小野 朗子 | | 開講年度：2019年度(平成31年度) | |
| 実務経験の内容：該当なし | | アクティブ・ラーニングの形態：該当なし | |
| | | ICTを活用したアクティブ・ラーニング：該当なし | |
| 工学科：総合システム | 学年：4 | 開講期：通年 | コース：全 |
| 科目種別：選択 | 単位数：1 | 単位の種別：履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授業概要 | |
| <p>「授業タイトル」</p> <p>平成31年度の市民公開講座を実施します。</p> <p>市民公開講座テーマ(予定)</p> <p>第1回「現場情報が育てる自動車システム・信頼性技術」</p> <p>第2回「救急医療の現状について～皆様にできること～」</p> <p>第3回「令和の御大礼～即位礼と大嘗祭～」</p> <p>第4回「生殖細胞の老化と不妊症の関係 ～遺伝子の知見がもたらすもの～」</p> <p>第5回「最も身近な存在である「水」を知ろう」</p> <p>5テーマの開催を予定しています。 その他、労働法制等の講演も実施予定です。</p> | | <p>■授業概要・方法等</p> <p>近年、技術者は健全なる価値観や倫理観を持つことが強く求められています。全5回に渡り企画された市民公開講座を聴講することにより、講義では得られない大きな教育効果を期待します。講演内容は、現代日本が直面する政治・経済・環境問題やものづくりなどに留まらず、地域振興、宗教など社会科学分野および、技術者としての知識、心構え、人間性教育の一環とします。講師は学長をはじめとする大学教員、地方自治体首長、本校教員、客員教授、非常勤講師、外部評価委員、地元企業経営者等です。</p> <p>■使用言語 日本語</p> <p>■学習・教育目標および到達目標</p> <p>受講者は、この授業を履修することによって、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (C-G1)現代社会の課題を正しく認識する。 2. (C-G2)新たなこと・困難なことに挑戦する精神を養う。 3. (C-G2)各自が技術者として将来取り組む目標のイメージをつかむ。 <p>ことができるようになります。</p> <p>この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーCの達成に関与しています。</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法</p> <p>■教科書 講演会時に資料を配付します。</p> <p>■参考文献</p> <p>■関連科目</p> <p>■成績評価方法および基準 種類：課題提出、方式：記述式 2回以上の講演会聴講とレポートにより評価します。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」</p> <p>■授業時間外に必要な学修：準備学習(予習・復習等)</p> <p>■教員所在場所 本館 2F 教務部</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 2月に授業アンケートを実施します。 第1回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。</p> <p>■メールアドレス ono@ktc.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 金曜日の8限</p> | |

| | | | |
|--|-----------------------------------|---|-----------|
| 科目名: 創造性工学演習 | | | |
| 英文名: Creative Engineering Seminar | | | |
| 担当者: 森田 日出男 | | 開講年度: 2019 年度(平成 31 年度) | |
| 実務経験の内容:自動車製造販売会社に勤務。エンジン、車両システム部品開発及び品質保証を担当。 | | ICT 活用アクティブ・ラーニング: 講義方式(前期) | |
| | | アクティブ・ラーニングの形態: 問題解決方式(後期) | |
| 工学科: 総合システム | 学年: 4 | 開講期: | 通年 コース: 全 |
| 科目種別: 選択 | 単位数: 1 | 単位の種別: 履修 | |
| 授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間) | | 授 業 概 要 | |
| 「授業タイトル」 | | | |
| (前期) | | ■授業概要・方法等 | |
| 第 1週 創造性工学必要性ガイダンス | ・日本を取り巻く環境と若者に託したい事(1 時間) | 前期:創造工学の基盤となる ・感性 ・コミュニケーション能力・専門知見学習の重要性を社会や産業界事例より理解させ、自主性向上の手助けを実施します。 | |
| 第 2週 創造性工学必要性ガイダンス | ・若者と先駆者の協同(1 時間) | 後期:ロボットの製作等演習で自主的な進捗管理が出来る様、問題発生時には課題を明確にさせ自主解決の支援を創造性工学と専門知見(メカトロニクス、機構学、制御工学、プログラミングのアドバイス等)から実施し 指導して行きます。 | |
| 第 3週 協同ツール | ・協同の為の見える化と手法(1 時間) | ■使用言語 | |
| 第 4週 協同ツール | ・企業界が使う手法と効果(1 時間) | 日本語 | |
| 第 5週 手法事例 | ・階層分析の重要性と必要性(1 時間) | ■学習・教育目標および到達目標 | |
| 第 6週 手法事例演習 | ・学生研究課題やロボコン等クラブ活動の階層分析(1 時間) | 受講者はこの授業を履修することによって | |
| 第 7週 階層分析の実施事例意見交換 | ・各自事例紹介と解った事の共有(1 時間) | 1. 階層分析の理解に寄る、協調性と協調の必要性を身に付ける。 | |
| 第 8週 階層分析の実施事例意見交換 | ・企業界事例で託したい事、「感性」について(1 時間) | 2. 階層理解に寄る、知識知見の多様性を知り得意分野の成長を進める。 | |
| 第 9週 「感性」をみがく | ・各自の体感共有(1 時間) | 3. 知識知見の多様性より、グローバルなコミュニケーション力の必要性を知り、外国語関心やITへの関心を高める。 | |
| 第10週 「感性」をみがく | ・「感性」業界共有事例の汎用化例(1 時間) | 4. 演習の計画立案で、マスタープランとアクションプラン作成を経験する事により、得意不得意の現状を知り、自己啓発の方向を理解できる様になります。 | |
| 第11週 創造工学とIT | ・各自のIT活用や恩恵事例紹介と共有(1 時間) | ■試験・課題に対するフィードバック方法 | |
| 第12週 創造性とIT | ・IT活用国事例(インダストリー4)とアプリケーション(1 時間) | ・前期 創造性工学の振り返りと後期演習準備活動での理解度と課題を知り、後期演習でフォローアップする。 | |
| 第13週 創造性工学前期振り返りと後期演習準備活動 | ・既知情報の重要性と演習、宿題課題(1 時間) | ・後期 演習計画の立案力と進捗管理理解より、良い点と課題を理解させ、自主啓発を高める。 | |
| 第14週 創造性工学前期振り返りと後期演習準備活動 | ・演習、宿題結果の共有(1 時間) | ■教科書:無し | |
| 第15週 創造性工学前期振り返りと後期演習準備活動 | ・後期演習(レゴマインドストーム)内容の協同決定(1 時間) | ■参考文献 | |
| (後期) | | ・匠のモノづくりとインダストリー4. 0、柴田 英寿 著 大河出版 ¥2000 | |
| 第16週 演習内容のマスタープラン作成法と作成 (1 時間) | | ・LEGO MINDSTORMS マスターへの道、Jin Dato/Joe Nagata 著、Ohmsha、ISBN4-274-08699-2、¥2,300 | |
| 第17週 アクションプラン作成法と作成(1 時間) | | ■関連科目 | |
| 第18週 マスタープランとアクションプランの整合確認と共有(1時間) | | 計測工学、制御工学、メカトロニクス、信頼性工学 品質工学 | |
| 第19週 アクションプランに沿ったロボット組立(1時間) | | ■成績評価方法および基準 | |
| 第20週 アクションプランに沿ったロボット組立(1時間) | | 前期:後期演習の為の現状分析と収集結果における階層分析度、コミュニケーション力、感性性を夫々20%、それに学習意欲を40%とする。 | |
| 第21週 進捗確認と完成度評価(1 時間) | | 後期:計画書立案力、進捗管理力、進捗対応力をそれぞれ 20%し、取組み姿勢を40%とする。 | |
| 第22週 進捗確認と完成度評価によるアクションプラン修正(1 時間) | | 学年末成績:上記評価と同じとします。 | |
| 第23週 アクションプラン評価と修正内容共有(1時間) | | 90 点以上「秀」、80 点以上～90 点未満「優」、70 点以上～80 点未満「良」、60 点以上～70 点未満「可」、60 点未満「不可」とします。 | |
| 第24週 アクションプランに沿ったロボット組立と作動確認開始(1時間) | | ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) | |
| 第25週 アクションプランに沿ったロボット組立と作動確認(1時間) | | 「当日中に授業内容を復習し理解を確実にする事。また、授業で習った事を身近なものへ適用・応用し、その理解を深める事」 | |
| 第26週 アクションプランに沿ったロボット組立と作動確認(1時間) | | ■教員所在場所 | |
| 第27週 マスタープランとの整合確認と終了目処対応(1時間) | | 4号館1Fモノ造り工作室内 4号館 2F 機械教員室 | |
| 第28週 第27週までのドキュメント作成(1時間) | | ■授業評価アンケート実施方法 2月に授業アンケートを実施します。 | |
| 第29週 演習振り返り資格要件説明と振り返り纏め(1 時間) | | 第 1 回目と最後の授業時に学修経験を問うアンケート調査も実施します。 | |
| 第30週 振り返り纏めの共有と演習内容の成長討議(1時間) | | ■メールアドレス moritantan@nifty.com | |
| | | ■オフィスアワー 水曜日 12:15～13:00 | |